

資料室便り

交通の専門図書館 交通経済研究所資料室

■新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）



『電気自動車は本当にエコなのか
—サプライチェーンの資源
争奪戦から環境破壊まで』
ヘンリー・サンダーソン著
原書房発行
2024年11月／2,970円(税込)
所蔵箇所：信濃町

電気自動車（EV）は気候変動対策の切り札として期待される一方、その製造過程やサプライチェーンに多くの課題を伴う。本書は、EVの普及がもたらす脱炭素化の可能性と、その実現に向けた経済・環境面の課題を多角的に検証する。

EVは環境に優しい技術とされるが、石油を使わない代わりにリチウムやコバルトなどの金属資源に依存しており、その採掘は石油同様、地政学的リスクや不平等を生みかねない。また、「グリーンウォッシュ（環境配慮を装った企業活動）」や不透明なサプライチェーンの問題も背後に潜む。

そのため、本書ではEVが真に環境に貢献するために、製造から廃棄までのライフサイクル全体でのCO₂削減が不可欠であると指摘。再生可能エネルギー活用や持続可能な資源調達への転換を提言している。さらに、消費者が批判的視点を持ち「お金で投票する」ことで、企業や産業を変える力を持っていることを強調する。グリーン・テクノロジーへの盲信を戒めつつ、EVの未来社会における役割に希望を見出し、より良い選択を後押しする一冊である。
(原)

■書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

『国有鉄道 鉄道統計累年表』

交通統計研究所編集・発行

1995年2月
所蔵箇所：上野（一般公開中）

本書は、交通統計の収集・分析等を行っている交通統計研究所が、明治初期に国鉄が開業してから分割民営化までの百有余年の統計を1冊に集約したものである。国鉄に関する代表的な統計として、第二次世界大戦前は『鉄道統計資料』、戦後は『鉄道統計年報』が毎年刊行されていたが、そのいずれにも、主要な項目を抜粋して編集した「累年表」が含まれていた（時期によってスタイル、刊行頻度が異なる）。本書は、この「累年表」を再編集したものである。内容は、運輸、運転、経理、職員、施設、車両、電気の各部門に分けられ、営業キロにはじまり、鉄道旅客・貨物運輸成績、職員数、在籍車両数など52項目が掲載されている。また、原資料である「累年表」には記載されていない路線図、図表、参考資料を加え、鉄道統計／国鉄統計を利用する人への配慮ある構成となっている。

新年度に入り本誌を新たに手に取られた方もいらっしゃるかと思うが、資料室では本書をはじめ、本書の元となった統計書も所蔵している。ご利用を心よりお待ちしている。
(土方)

資料室からのご案内

蔵書オンライン検索、新着図書・雑誌の情報、月別新着図書目録、所蔵社史・年史のリストなどは、資料室HP (<https://www.itej.or.jp/about>) をご覧ください。

担当：古森崇史、原祥太、土方規義、田邊由佳

